

科目名	<b>野菜栽培各論</b>	開講時期	1年生通年
		時間数	60
担当者名	園芸課:杉山、刀禰、就技室:木村	単位数	4
科目のねらい	主要野菜の生理生態及び野菜生産に必要な栽培管理方法を理解させる。また野菜流通の現状について理解させる。		
到達目標	(1) 主要野菜の生理生態と栽培管理方法を習得する。 (2) 基礎的な施設管理方法を習得する。 (3) 野菜流通の現状を理解する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 主要野菜の生理生態と栽培管理 ・ナス科(ナス、トマト、ピーマン) ・ウリ科(メロン、キュウリ、カボチャ) ・アブラナ科(キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー) ・イチゴ ・土地利用型野菜 (タマネギ、ニンジン、ジャガイモ) ・葉物類(ホウレンソウ、コマツナ) 等	42	担当者
	2 施肥設計と農薬計算	15	
	3 野菜流通の現状と課題	2	
	4 試験	1	
評価方法	(1)筆記試験(後期1回)(60%) (2)関心・意欲・態度(40%)		

科目名	<b>野菜専攻栽培演習</b>	開講時期	1、2年生通年
		時間数	1年(120) 2年(120)
担当者名	園芸課:杉山、刀禰、就技室:木村	単位数	1年(6) 2年(6)
科目のねらい	主要野菜の栽培を通して野菜生産に必要なほ場管理、栽培技術、出荷調製技術を習得させる。		
到達目標	主要野菜生産の基礎的な技術を習得する。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 栽培スケジュールの作成と品種選定	2	担当者
	2 土壌分析と施肥設計	2	
	3 ほ場準備 ・土づくり、土壌消毒、灌水装置の設置	15	
	4 主要野菜の栽培管理と出荷調製技術の習得 ・ナス科(ナス、トマト) ・ウリ科(メロン、キュウリ) ・アブラナ科(キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー) ・土地利用型野菜(タマネギ、ニンジン、ジャガイモ) ・イチゴ ・葉物類(ホウレンソウ) 等	91	
	5 病虫害防除	10	
評価方法	(1)関心・意欲・態度(40%) (2)知識・理解度(30%) (3)管理技術の習得状況(30%)		

科目名	野菜生産プロジェクト実習	開講時期	1年生通年
		時間数	750
担当者名	園芸課:刀禰、杉山、就技室:木村	単位数	25
科目のねらい	野菜生産に係る基本的な技術を習得するため、品目を選定し、野菜の生理生態や栽培技術、販売手法を理解させる。		
到達目標	(1) プロジェクト課題を通じて基礎的な栽培技術を習得する。 (2) プロジェクト課題の設定から調査、成果のとりまとめを通じて、経営プロジェクト作成に係る能力を培う。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 生産プロジェクトの課題設定	4	担当者
	2 生産プロジェクトの栽培計画作成	4	
	3 生産プロジェクトの実施	718	
	4 中間検討会(専攻単位)	4	
	5 生産プロジェクト報告書まとめ	20	
評価方法	(1)関心・意欲・態度(30%) (2)取組の知識・理解度(30%) (3)技術の習得状況(30%) (4)報告書の内容・発表態度(10%)		

科目名	野菜経営プロジェクト実習・卒業論文	開講時期	2年生通年
		時間数	720
担当者名	園芸課:杉山、刀禰、就技室:木村	単位数	24
科目のねらい	将来の進路を視野に入れた作目を選定し、プロジェクト課題を通じて、野菜の生産性向上・収益性を重視した経営安定技術を習得させる。		
到達目標	(1) プロジェクト課題を通じて就農を視野に入れた栽培技術と経営管理技術を習得する。 (2) プロジェクト課題の設定から調査、成果のとりまとめ、発表までの一連の作業を通じて農業経営者としての視野を養う。		
授業計画	授業内容・方法	時間数	講師
	1 経営プロジェクト課題設定	10	担当者
	2 経営プロジェクトの栽培計画の作成	10	
	3 経営プロジェクトの実施	658	
	4 中間検討会	4	
	5 プロジェクト経営収支・調査課題のまとめ	30	
	6 経営プロジェクト報告	8	
評価方法	(1)関心・意欲・態度(30%) (2)取組の知識・理解度(30%) (3)技術の習得状況(30%) (4)報告書の内容・発表態度(10%)		